

# 進化する時代への挑戦！ ～企業と地域の未来をつくろう～

講師 宮崎 由至 氏

株式会社宮崎本店 代表取締役  
三重県中小企業家同友会 理事相談役



## 運営ではない、経営を学ぶ

同友会は3つの目的がある。良い会社をつくろう。良い経営者になろう。良い経営環境をつくろう。「良い会社をつくるためにどうするか、そのためには良い経営者にならなければならない。良い経営者になるためには、よい経営環境をつくらなければならない」と目的がはっきりしている。茨城同友会も30周年を迎えたということですが、長いことやっていると慣れてくる。そうすると運営をするようになります。分かりやすいのは、理事会で経営の話をしなくなる。これは、経営者の団体として、非常にもったいないことだと思います。

それで三重同友会では、ある時からそれは担当の委員会に任せて、同友会の理事会では全部経営の話をすることにしました。どうゆうことをしたかと言うと、あなたの今の会社で一番困っている事は何かですか。ということを出してもらって、クリーニングの業界ではこういうことになっているとか、印刷業界の話とか、そういうすごい話がわつと出てくる。それが同友会でしょう。運営がすごく上手な人ほど上に行きますが、そういう組織が好きなら、そういう組織に行けばいい。同友会は違います。同友会では経営を語らないといけません。

## 同友会用語を使わず経営を語れますか

私は同友会で500名会員増強しようと思っていました。オブザーバーを例会に呼ぶなど、進歩的な同友会はやっていますが、非常に大事なことです。同友会を知らない人に「同友会に入って」と言っても駄目でしょう。同友会の例会に来て貰って、その例会で納得したら同友会に入っていたかどうかというのは、非常に精巧なことです。そうやって新しい方を招いた時に、同友会の例会が同友会用語で埋

まっていたらどうなりますか。何を言っているか訳が分からなくなりません。中同協が唱える三位一体の経営。その三位一体って何ですかと聞いたら、聞かれた人はすぐには答えられないですよ。これは駄目だと思いませんか。共同求人初めてやった時に、ブリスに来た学生に「宮崎本店ってどんな会社ですか？」と聞かれました。当社を知らないのかと腹が立って、「うちは本屋ではありません」と言ったら「知っています」と言われました。その彼が、「宮崎本店ってどんな会社ですか？」と聞いている意味さえ分からなかった。酒を造っている会社だとその後言いましたが、そうじゃない。あなたの会社の経営理念は、あなたの会社の経営指針はどうやって社会に貢献する会社を作っているのかというの言っているのか。聞きたかったのです。それが「本屋じゃありません。酒を造っています。知ってるでしょ？」なんていう会社にまともな学生は来ないと思います。それをやるのが経営教育委員会です。それできつちり経営指針や経営理念を決めて作って、それを持って初めて人を採用できるということが分かる。共同求人が出るんです。1人しか採用出来ないから、社員教育委員会、同友会共同で行う。経営理念を作って、共同求人でも人を雇って、社員教育をする。3つの委員会の三位一体という。この説明できないと、誰も入会しません。同友会用語を使わないで、同友会の説明が出来るか、という事です。

## 経営者の決意

トランプ氏が大統領になって、彼は言うたびに言うことが違う。アメリカに富をもたらすために、為替は安い方が良く、次の日には強いアメリカ力を象徴する強いドルがなくてはならないと言う。それを「Win-win」でも一方的に発信している。4年間の大統領期間で期間利益をアメリカにもたらすということ。大企業の社長も同じです。社長の任期の時にもっともいい成績を上げて、株価を上げるのが名経営者と言われています。中小企業の我々は、期間利益なんて考えますか。今、私が社長の時にな

るべく辛抱して、ちょっと無理をしても新しい設備を入れて、次の世代が少しでも良くなる為に、歯を食いしばって頑張ろうというのは、期間利益ではなく未来投資です。これがファミリービジネスなんです。ファミリービジネス、というと、皆にせこいと言われますが、違います。ファミリービジネスの良いところは同族で役員をやっている、明日にでも役員会を開くことが出来、決断が、いち早い。同族で株を持っているから、株主の顔色を窺わなくていい。株を配当する

